

令和3年度▶令和5年度(2021年度▶2023年度)

はままつ友愛の高齢者プラン

[第9次浜松市高齢者保健福祉計画・第8期浜松市介護保険事業計画]

地域で共に支え合い 安心していきいきと暮らすことのできるまち 浜松

～地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進～

【概要版】

(案)

令和3(2021)年●月

浜 松 市

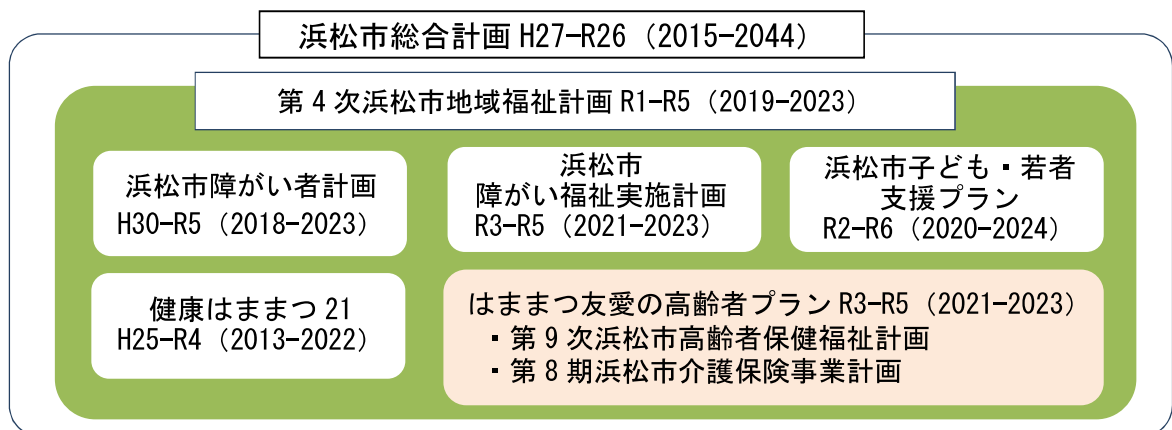
プラン策定にあたって

1 プランの趣旨

「はままつ友愛の高齢者プラン」は、高齢者に関する各種の保健福祉事業や介護保険制度を円滑に実施するための総合的な計画です。老人福祉法（第20条の8）及び介護保険法（第117条第1項）を根拠として、「浜松市高齢者保健福祉計画」と「浜松市介護保険事業計画」を一体的に策定するものです。

2 プランの位置づけ

このプランは、本市の基本指針である浜松市総合計画及び浜松市地域福祉計画を上位計画とし、保健・介護・福祉分野に関する計画のひとつとして位置づけ、各計画と連携して推進します。



3 プランの期間 R3-R5 (2021-2023)

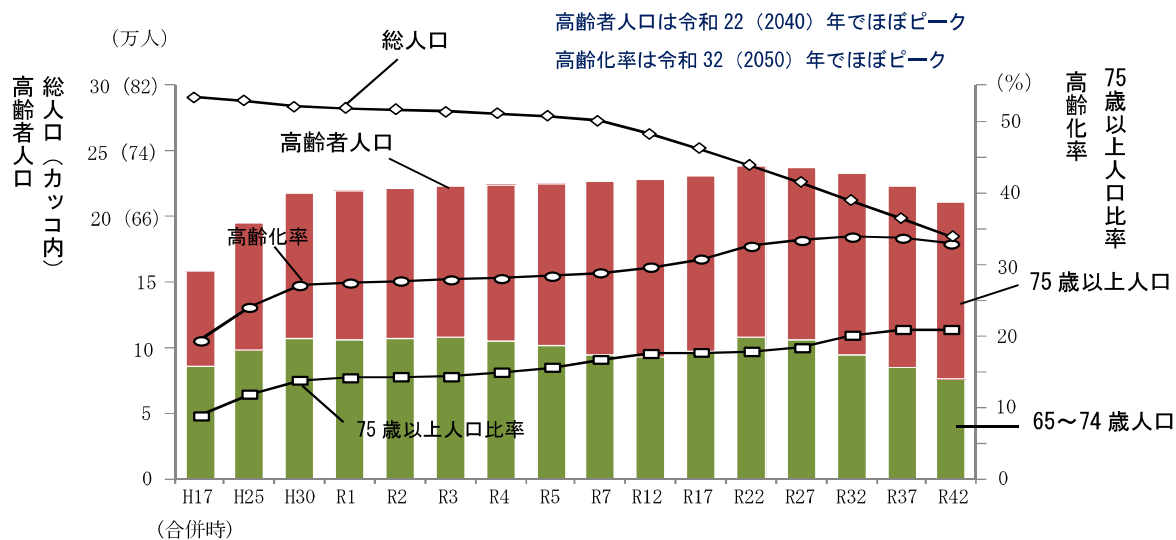
このプランの計画期間は、令和3（2021）年度から令和5（2023）年度までの3年間です。計画の目標数値や各事業の事業量などについて、実績数値を基に達成度を年度ごとに管理します。なお、計画期間中における制度改正や社会経済情勢の変化には柔軟に対応するものとします。

H12 (2000)	...	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	...	R7 (2025)	...	R22 (2040)
		第8次 高齢者保健福祉計画 第7期 介護保険事業計画			第9次 高齢者保健福祉計画 第8期 介護保険事業計画						
					<div style="border: 1px dashed blue; padding: 5px; text-align: center;"> 団塊の世代が75歳以上となる2025年及び 団塊ジュニア世代が65歳以上となる2040年を見据えた計画 </div>						

4 高齢者を取り巻く状況

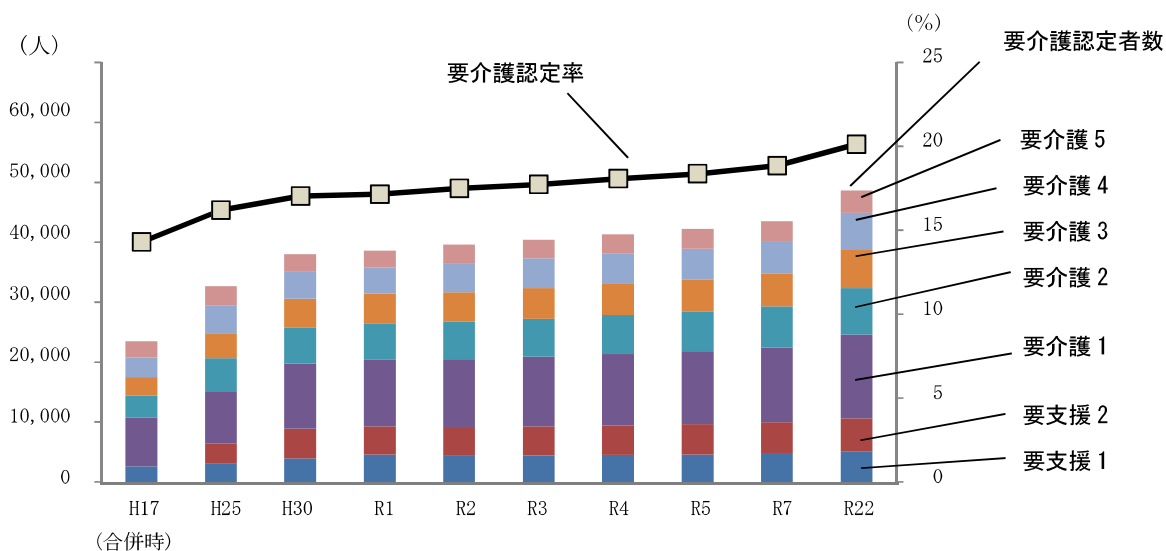
※R2年以降の数値はR2年10月1日時点の人口等をもとに再推計するため、数値が変わります。

(1) 高齢者人口と高齢化率の推移と推計



高齢者人口は、令和 7 (2025) 年に 226,393 人、令和 22 (2040) 年にはほぼピークに達し 238,225 人と見込まれます。その後は、減少に転じますが、高齢化率は令和 32 (2050) 年にピークに達し 33.9%になると推計しています。

(2) 要介護認定者数と要介護認定率の推移と推計



要支援・要介護認定者数は、介護保険制度の定着や高齢者人口の増加に伴い、要介護 1 までの軽度の人を中心に年々増加傾向にあります。

基本理念と施策体系

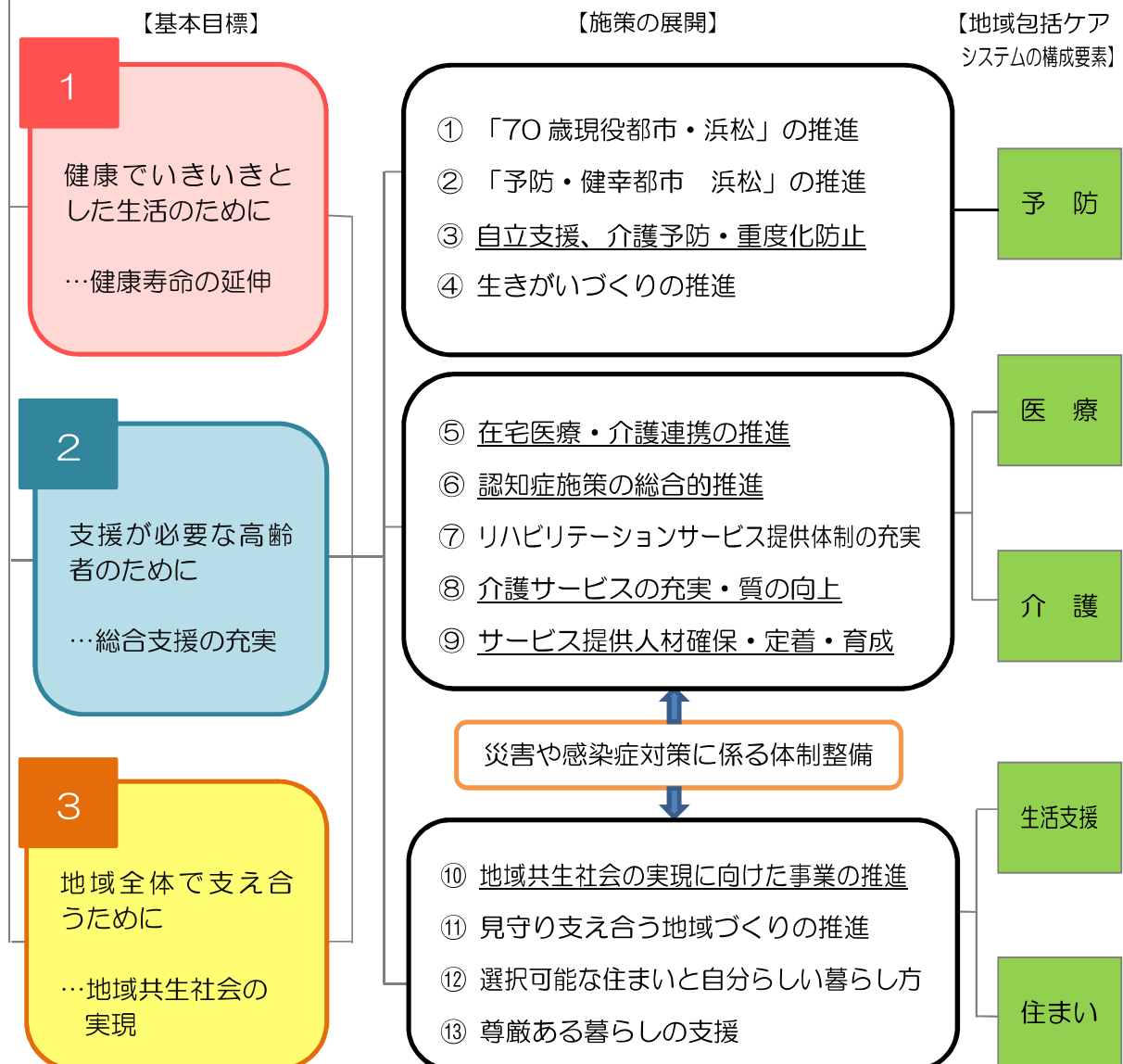
1 基本理念と基本目標

団塊の世代が 75 歳以上となる令和 7（2025）年及び、団塊ジュニア世代が 65 歳以上となる令和 22（2040）年を見据えて、高齢者を含めたあらゆる人々が役割を持って、いきいきと活躍し支え合うことのできる「地域共生社会」の実現に向けた施策が重要となります。そのために必要となる「地域包括ケアシステム」のさらなる深化・推進に向けて、まずは「予防」、次に「医療」「介護」、それらを取り巻く「生活支援」「住まい」の 5 つの構成要素につなげていくよう施策を展開していきます。

2 施策体系図

【基本理念】

地域で共に支え合い 安心していきいきと暮らすことのできるまち 浜松
～ 地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進 ～



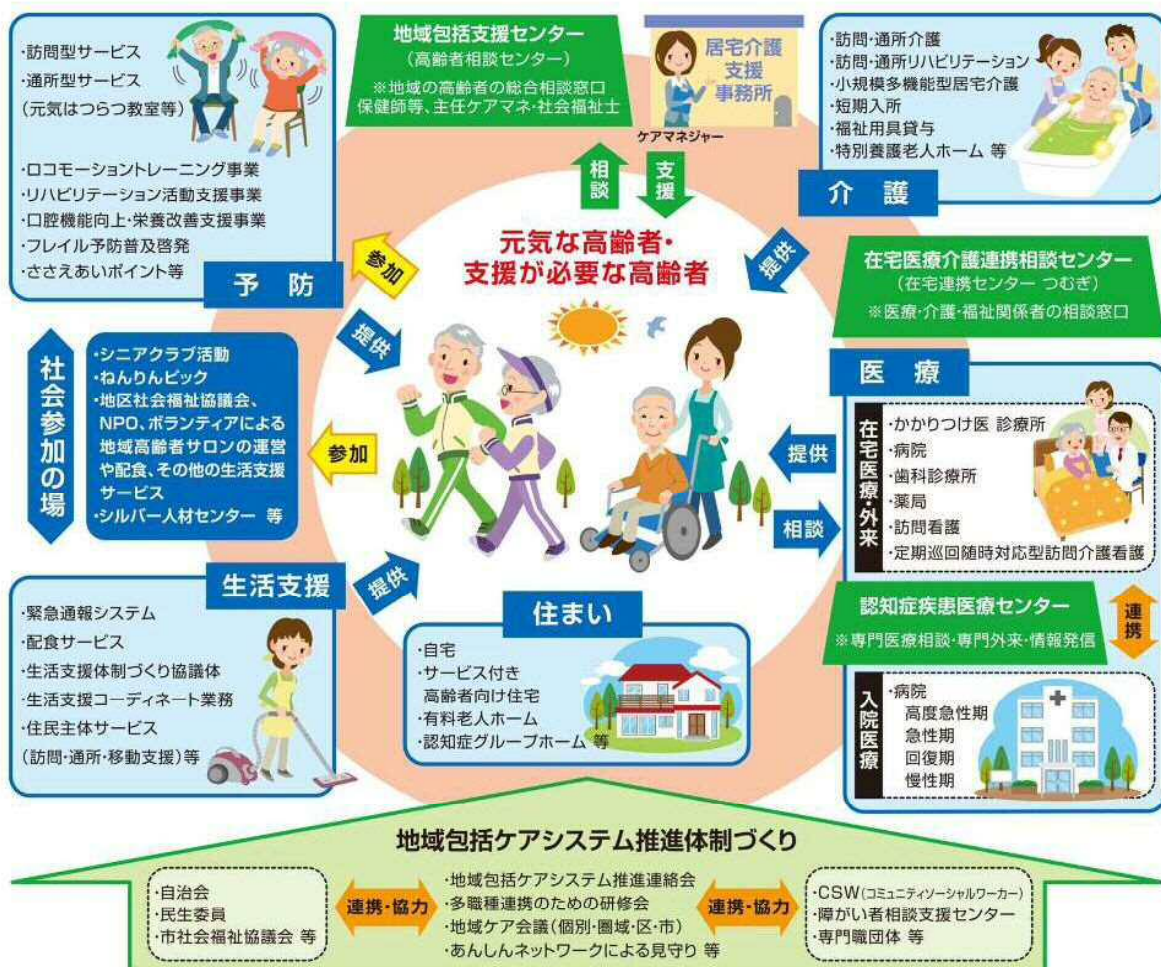
※下線部分…重点施策

3 地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進

高齢者が介護や支援が必要な状態となっても、できる限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、「予防」「医療」「介護」「生活支援」「住まい」が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を深化・推進させる必要があります。また、令和 7（2025）年には団塊の世代が 75 歳に達することや、認知症高齢者の増加、高齢者が抱える課題の複合化などに対処するため、各分野での連携体制のさらなる強化に取り組むことも必要です。

今後は、地域のあらゆる人々が役割を持ち、支え合いながら、自立した日常生活を営むことができる地域コミュニティを形成し、公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」の実現に向けて、地域包括ケアシステムのさらなる深化・推進を図っていきます。

【地域包括ケアシステムの姿】



6つの重点施策

重点施策1 自立支援、介護予防・重度化防止

静岡県の後期高齢者医療制度における医療費の3割は生活習慣病と「フレイル」(虚弱)に起因しています。住み慣れた地域で、いきいきとした生活が送れるよう、介護予防の必要性を認識し、自分自身ができること、したいことを大切にしながら取り組める活動を支援します。



- (1) 健康寿命延伸に向けたフレイル予防等の普及啓発
- (2) 地域の通いの場としてのロコモーショントレーニング事業の推進
- (3) 自立支援・重度化防止に特化した地域リハビリテーション活動支援事業の推進
- (4) 要介護度の改善につながる取組の推進

重点施策2 在宅医療・介護連携の推進

高齢化の進展に伴い、慢性疾患や認知症などの医療・介護ニーズを併せ持つ高齢者が増加することが見込まれるため、在宅医療と介護の一体的な提供体制を推進します。

- (1) 在宅医療・介護連携推進事業の推進
- (2) ACP (アドバンス・ケア・プランニング) の普及啓発
- (3) 在宅医療・介護連携相談センター (在宅連携センターつむぎ) の運営

※ACPとは…もしもの時、自らが希望する医療やケアを受けるために大切にしていることや望んでいること、どこでどのような医療やケアを望むのかを自分自身で元気なうちから考え、周囲と話し合い、共有すること

重点施策3 認知症施策の総合的推進

令和7(2025)年には65歳以上の高齢者5人に1人が認知症になると見込まれています。予防をはじめ、認知症になってもできる限り自分らしく暮らし続けていけるよう、地域の見守り体制や専門機関による相談体制を充実させるとともに、医療と介護の連携を強化し、包括的に支援します。

- (1) 認知症に対する正しい知識の普及啓発
- (2) 認知症の人・その家族への支援
- (3) 認知症の早期発見・早期対応
- (4) 認知症疾患医療センターの運営支援



重点施策4 介護サービスの充実・質の向上

安心して介護サービスが利用できるよう、介護施設の整備及びサービスの質の向上を図ります。

- (1) 特別養護老人ホーム改築への支援
- (2) 施設整備の推進
- (3) 介護事業所の育成・支援の推進
- (4) 介護給付等の適正化



重点施策5 サービス提供人材確保・定着・育成

要介護（支援）者の増加等に伴い、介護ニーズが高まる中、介護人材の確保が喫緊の課題として挙げられています。そのため、介護サービスや、総合事業及びインフォーマルサービスを担う人材の確保・定着・育成に向けた取組を実施します。

- (1) 多様な人材の確保・定着・育成の支援
- (2) 外国人材の受け入れ環境の整備
- (3) 介護職の魅力向上の取組
- (4) 中山間地域介護サービス事業の推進
- (5) 離職防止・定着促進・生産性向上の推進



重点施策6 地域共生社会の実現に向けた事業の推進

高齢化の進展に伴う高齢者支援の多様化に対応できるよう、地域で支え合う体制づくりを推進するとともに、多機関多職種が連携協働して支援できる体制づくりを目指します。

- (1) 各分野の関係機関との連携協働による地域包括支援センターの課題解決力の強化
- (2) 生活支援体制づくり協議体等を通じた地域への生活支援サービスの創出・継続への支援

施策展開における視点 災害や感染症対策に係る体制整備

近年、地震や水害、土砂災害等の大規模な災害が頻発していることに加え、新型コロナウイルス等の感染症対策が大きな課題となっています。災害や感染症発生時でも、サービス提供を継続できる体制を整備するため、平時からの事前準備を行います。

- (1) 高齢者施設や介護施設に対する施設整備補助の実施
- (2) 災害・感染症発生時における連携体制の構築
- (3) 感染症を含めた災害対応マニュアルの見直し

成果目標

区分	成果目標	単位	見込	計画値			備考
			R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	
[重点施策1] 自立支援、介護 予防・重度化防止	健康寿命 (65歳時点での平均 自立期間：お達者度)	年	(H28) 男 18.57 女 21.60	延伸	延伸	延伸	お達者度（静岡県調査による、市の介護認定情報等をもとに算出した、65歳から元気で自立して暮らせる期間）
[重点施策2] 在宅医療・介護連携 の推進	人生の最終段階に受け る医療やケアの希望を 家族等と共有している 高齢者の割合	%	(R1) 9.9	—	—	15	プラン策定に伴う実態調査（全区分合計）結果による
[重点施策3] 認知症施策の 総合的推進	認知症サポーター 累計人数	人	56,100	59,600	63,200	66,900	高齢者福祉課調べによる「認知症サポーター」の累計人数
[重点施策4] 介護サービスの 充実・質の向上	入所・入居系施設 新規整備床数	床	36	0	18	18	認知症対応型共同生活介護の施設整備数
[重点施策5] サービス提供人材 確保・定着・育成	資格取得費用 助成人数	人	162	260	260	260	介護職員キャリアアップ支援による助成人数
[重点施策6] 地域共生社会の 実現に向けた事業 の推進	住民主体サービス 実施か所数	か所	11	14	17	20	高齢者福祉課調べによる「補助金を活用し、住民主体サービスを実施しているか所数」
[施策展開における視点] 災害や感染症対策 に係る体制整備	施設・事業所の事業継続 計画（BCP）の作成	%	20程度	60	80	100	高齢者福祉課・介護保険課調べによる作成率 作成済施設数÷全施設数

発行：浜松市 〒430-8652 浜松市中区元城町 103 番地の 2

編集：健康福祉部 高齢者福祉課 TEL(053)457-2790

介護保険課 TEL(053)457-2862

発行日：令和3（2021）年●月

浜松市ホームページ

準備中

浜松市 高齢者プラン

検索